

中学二年生

中学二年生



中学二年 国語 もくじ

2-20	2-19	2-18	2-17	2-16	2-15	2-14	2-13	2-12	2-11	2-10	2-9	2-8	2-7	2-6	2-5	2-4	2-3	2-2	2-1
助詞	助詞	助詞	古典に親しもう	古典に親しもう	古典に親しもう	古典に親しもう	鳥取で詠まれた短歌を味わおう	鳥取に生きた歌人	送り仮名	漢字を分解して考える	同じ訓をもつ漢字	同じ音をもつ漢字	複数の訓をもつ漢字	複数の音をもつ漢字	熟語の成り立ち	熟語の成り立ち	漢字に親しもう	漢字に親しもう	漢字に親しもう
3	2	1	4	3	2	1								2	1	3	2	1	

/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/

学習
予定日
2回目
学習日
3回目
学習日

計画的に学習し
ましょう。
苦手なところは、
自主学習ノートな
どを使って、くり返
し学習するといっ
すね。



2-28	2-27	2-26	2-25	2-24	2-23	2-22	2-21
書写	書写	目的に	目的に	文の組	文の組	助動詞	助動詞
行書	行書	応じて	応じて	み立	み立	2	1
2	1	聞く	聞く	て	て		
		2	1				

/	/	/	/	/	/	/	/
/	/	/	/	/	/	/	/
/	/	/	/	/	/	/	/

学習
予定日
2回目
学習日
3回目
学習日

ちょっと難しいよ。がんばってね。



☆ 次の□に入る適切な漢字を書きましよう。

① ラジオの□ろう 読番組を聞く。

② 火力発電所は、平野の□りん 海部に作られる。

③ □てんらん 会に招待される。

④ 年末になって、□たまご が値上がりしているらしい。

⑤ 山□ちよう の避□なん 小屋を□さが す。

⑥ 私利私□よく に捕らわれず、世の中のために力をつくす。

⑦ □ゆう 先順位を考えて仕事をするのが大切だ。

⑧ 英語が好きなので、通□やく の仕事をしたい。

☆ 例にならって、次の四枚のカードを組み合わせ、二字の熟語を作ろう。

例 言+日+正+月 ↓ □ □ (証明)

① 同+金+金+竟 ↓ □ □ ()

② 分+土+也+皿 ↓ □ □ ()

③ 金+制+衣+失 ↓ □ □ ()

④ 言+人+印+人 ↓ □ □ ()

☆ 次の□に入る漢字を、()の中から選んで書きましよう。

① 同窓会の会費を□める。(収・納)

② 選挙への立候補を□める。(薦・勸)

③ 姉は銀行に□めている。(務・勤)

④ 最近、身長が急に□びた。(延・伸)

☆ 次の文には一字だけ漢字の誤りがあります。誤った漢字に—線を引き、正しい漢字をその横に書きましよう。

① 今日、以外な出来事があった。

② 圧到的に白組が優勢だ。

③ 快的な空の旅をする。

④ 戦争の議犠者を追悼する。

⑤ 軽卒な行動は慎むべきだ。

⑥ 激薬の取り扱いに注意する。

⑦ 草花を栽培する。

⑧ 心気一転がんばります。

2-2

漢字に親しもう 2 学習日 月 日 ()

全部、小学校で学習した漢字だよ。



☆ 次の () に入る適切な漢字を書きましょう。

① カラフルな () ような 稚園バスが走ってくる。

② 視聴覚室の暗 () まく を引く。

③ 国際連合に加 () めい する。

④ 大規 () ぼ な地滑りが発生する。

⑤ 最後まで () ひみつ を守り通した。

⑥ 古代文明滅 () ぼう の謎を探る。

⑦ 敵の () はい 後からそつと忍び寄る。

⑧ 祖母といっしょに () く らす。

☆ 送りがなの正しいものを選び () に○を付けましょう。また、それぞれの言葉で短文を作りましょう。

① () 垂れる ② () 危い

あぶない () 危ない

③ () 暖かい ④ () 補なう

() 暖い () 補う

① の言葉を使った短文

② の言葉を使った短文

③ の言葉を使った短文

④ の言葉を使った短文

☆ 次の文には一字だけ漢字の誤りがあります。誤った漢字に | 線を引き、正しい漢字をその横に書きましょう。

① 専門家の意見を聞く。

② 衆知徹底する。

③ 内容が重腹する。

④ 友人の安非を気づかう。

⑤ たくさんの観集が注目する。

⑥ 私は消化機官が弱い。

⑦ すばらしい業績をあげる。

⑧ 友達に本を貸りる。

全部、小学校で
学習した漢字だ
よ。



☆ 次の □ に入る適切な漢字を書きましよう。

① 友達の家を久しぶりに

□ たずねる。

② 日々の

□ く
らしが、もう少し楽しくなるといい。

③ スチーブンソンの『

□ たから
島』を読む。

④ 祖母は、フラダンスの衣

□ しょう
を何
□ まい
も
持っている。

⑤ 両親を

□ そんけい
している。

⑥

□ きことう
のとりすぎに気を付けている。

⑦

□ ぜん
意の募金を
□ とど
ける。

☆ 送りがなの正しいものを選び () に ○ を付けましよう。
また、それぞれの言葉で短文を作りましよう。

① () 染まる

() 染る

③ () 縮る

() 縮まる

② () 降る

おりる () 降りる

④ () 厳しい

() 厳い

① の言葉を使った短文

② の言葉を使った短文

③ の言葉を使った短文

④ の言葉を使った短文

☆ 次の文には一字だけ漢字の誤りがあります。
誤った漢字に | 線を引き、正しい漢字をそ
の横に書きましよう。

① 幼児を対照にした遊具。

② 大平洋を航海する。

③ 公金着腹の罪で起訴される。

④ 短刀直入に話してほしい。

⑤ 言語同断の行いで、許せない。

⑥ 自分の将来を悲感する。

⑦ 市販の下熱剤を飲む。

⑧ 指適された欠点を改善する。

2-4

熟語の成り立ち 1 学習日 月 日 ()

☆ 二字以上の漢字が結合し、ひとまとまりの意味をもつものを熟語といいます。「 」の中の熟語を、成り立ちによって分類し、□に書きましよう。また、熟語の読み仮名も書きましよう。

① 意味が似ている漢字の組み合わせ

「例」欣喜↓「歡ぶ」と「喜ぶ」

() () () () () () () () () ()

② 意味が対になる漢字の組み合わせ

「例」進退↓「進む」と「退く」

() () () () () () () () () ()

③ 上の漢字が下の漢字を修飾する関係

「例」難問↓難しい問題

() () () () () () () () () ()

④ 下の漢字が上の漢字の目的や対象を示す関係

「例」開店↓店を開く。

() () () () () () () () () ()

⑤ 主語と述語の関係

「例」雷鳴↓雷が鳴る。

() () () () () () () () () ()

日照 往還 克己 握手
柔軟 漸増 地震 優劣
洞穴 芳香 氷解 取捨
就職 分裂 水滴

「漸増」は、少しずつ増えるという意味です。



接頭語・接尾語

言葉の前に付いて意味を加える語を接頭語、言葉の後に付いて意味を加える語を接尾語といいます。

次の言葉の接頭語に――線を、接尾語にはく線を引きましょう。また、読み仮名を()に書きましよう。

■接頭語、接尾語の付いた漢字二字の熟語

素足 端的

未熟 強化

■接頭語、接尾語の付いた漢字三字の熟語

無理解 自発的

重要視 非常識

「か弱い」の「か」、「お菓子」の「お」も接頭語です。「佐藤さん」の「さん」、「春めく」の「めく」なども接尾語です



☆ 二字以上の漢字が結合し、ひとまとまりの意味をもつものを熟語といいます。「□」の中の漢字三字の熟語を、成り立ちによって次の①〜③に分類し、「□」に書きましょう。また、熟語の読み仮名も書きましょう。

① 漢字三字が対等に並ぶもの

「例」衣食住 ↓ 衣 ↓ 食 ↓ 住

() () () () () ()

② 漢字一字の言葉と、漢字二字の言葉(熟語)を組み合わせたもの。

「例」初対面 ↓ 初 ↓ 対面

() () () () () ()

③ 漢字二字の言葉(熟語)と、漢字一字の言葉を組み合わせたもの。

「例」推進力 ↓ 推進 ↓ 力

() () () () () ()

双方向 必需品 天地人 依頼心 好景気
走攻守 高性能 外出中 心技体

☆ 次の熟語に読み仮名を書きましょう。また、例に習って、漢字一字、または漢字二字の組み合わせに分けましょう。

「例」 事実上 ↓ 事実 — 上

未完成品 ↓ 未 — 完成 — 品

① 金融機関 ↓

() () () () () ()

② 一般投資家 ↓

() () () () () ()

③ 最先端技術 ↓

() () () () () ()

④ 超高齢化社会 ↓

この問題の熟語は、新聞記事から探したものです。あなたも、新聞記事から漢字四字以上の熟語を探し、どのような組み合わせになっているか考えてみましょう。

見つけた熟語をここに書き、組み合わせも考えてみましょう。



漢字二字の略語

わたしたちは、長い言葉を省略して作った「略語」を、日常生活の中で、たびたび使っています。次の言葉を漢字二字の略語で表しましょう。

① 駅で売っている弁当 ()

② 家庭裁判所 ()

③ 農業協同組合 ()

④ 空気調和設備 ()

⑤ 原動機付自転車 ()

⑥ 卒業論文 ()

⑦ 損害保険 ()

⑧ 日本銀行 ()

2-6

複数の音をもつ漢字 学習日 月 日 ()

☆ 次の漢字は複数の音をもっています。——線部はどう読むでしょうか。——線の横に読み仮名を書きましよう。

① 歳 歳末助け合い運動に協力する。
歳暮をお世話になった方に贈る。

② 蛇 ジャングルで大蛇をさがす。
蛇足ですが、ひとことだけ言わせてください。

③ 拾 金拾万円
拾得物を交番に届ける。

④ 出 金銭の出納簿を付ける。
高校受験の願書を提出する。

⑤ 精 お寺で精進料理を食べる。
精神力を鍛える。

⑥ 体 世間体を気にすることはない。
体力を増強する。

⑦ 弟 師弟関係を結ぶ。
相撲部屋に弟子入りする。

⑧ 度 旅の支度をする。
相手によって態度を変えるのはよくない。

⑨ 発 ぜんそくの発作が起きる。
発明工夫展に応募する。

⑩ 望 希望がかなう。
優勝できて本望だ。

中学校で新しい音読みを学んだものを中心に課題しました。しっかり読めるようにしましょう。



ことばの知識

次のことわざの意味を後ろのオから選び、()に記号で答えましよう。

□ 青菜に塩 ()

□ 魚心あれば水心 ()

□ 枯れ木も山のにぎわい ()

□ 棚からぼたもち ()

□ 乗りかかった船 ()

ア つまらないものでもないよりましたの意。

イ 力なくしおれているさま。

ウ 相手にその気持ちがあればこちらにも応ずる気持ちがおこること。

エ すでに手がけたので、あとへは引けぬさま。

オ 思いがけぬ幸運にあうこと。



☆ 次の漢字は複数の訓をもっています。——線部はどう読むでしょうか。——線の横に読み仮名を書きましよう。

① 後
 ・行列の後ろに並ぶ。 ・晴れ後くもり
 ・流行に後れる。

② 厳
 ・冬の厳しい寒さにたえる。
 ・厳かな儀式に出席する。

③ 下
 ・物価が下がる。 ・放送原稿の下読みをする。
 ・細かい計画の下に実施する。

④ 和
 ・寒さが和らぐ。
 ・和やかに歓談する。

⑤ 交
 ・近所の人とあいさつを交わす。
 ・多くの友と交わる。

⑥ 重
 ・重い漬け物石を持つ。 ・本を重ねて置く。
 ・八重咲きの桜が満開になる。

⑦ 集
 ・鳥取駅に集まる。
 ・成人の集いに参加する。

⑧ 声
 ・大きな声を出す。
 ・急に声色を変える。

⑨ 著
 ・書物を著す。
 ・著しい発展を遂げる。

⑩ 閉
 ・校門を閉める。
 ・心をかたくなに閉ざす。

中学校で新しく学んだ訓読みを中心に
 出題しました。教科書の巻末にある
 常用漢字表で、他にどんな漢字が複
 数の訓をもつか調べてみましょう。



ことばの知識

次のことわざの意味を後ろのオから選び、()に記号で答えましよう。

□ 立て板に水 ()

□ 他山の石 ()

□ 木に竹をつぐ ()

□ 情けは人のためならず ()

□ 火のないところに煙は立たぬ ()

ア 物事のつながりが不自然なさま。

イ 人に情けをかけておけばいつかは自分のためになる。

ウ 他人のまちがった言行も、自分の修養、反省の助けになる。

エ すらすらとよどみなくしゃべるさま。

オ 噂が出るからには根拠となる事実があるはずだ。

2-8

同じ音をもつ漢字

学習日 月 日 ()

☆ 次の一線に適した熟語を、下の()の中から選んで○で囲みましょう。

- ① 教室の|カ|ン|キに気を配る。 (喚起・換気)
- 交通安全に|関|する注意を|カ|ン|キする。 (喚起・換気)
- ② スーパーの|シ|ョ|ク|リ|ョウ品売り場に行く。 (食糧・食料)
- |シ|ョ|ク|リ|ョウ不足にそなえて自給率を上げる。 (食糧・食料)
- ③ 学校の|エ|ン|カ|ク史を調べる。 (遠隔・沿革)
- |ロ|ボ|ットを|エ|ン|カ|ク操作する。 (遠隔・沿革)
- ④ 町の産業を|ガ|イ|カ|ンする。 (概観・外觀)
- 建物の|ガ|イ|カ|ンを確認する。 (概観・外觀)
- ⑤ 若い頃を|カ|イ|コする。 (解雇・回顧・懐古)
- |カ|イ|コ趣味。 (解雇・回顧・懐古)
- 不況で大勢の人が|カ|イ|コされた。 (解雇・回顧・懐古)

⑥ |キ|セ|イの概念に|し|ば|ら|れることはない。

(規制・既成・既製)

警察が交通|キ|セ|イをする。

(規制・既成・既製)

|キ|セ|イ品で間に合わず。

(規制・既成・既製)

⑦ 核戦争の|キ|ョウ|イ|に|お|び|える。

(驚異・脅威)

|キ|ョウ|イ|的な回復力だ。

(驚異・脅威)

⑧ そろそろ中間テストの|ジ|キ|だ。

(時期・時機)

|ジ|キ|が熟すのをじっくりと待つ。

(時期・時機)

⑨ |シ|コウ|錯誤を重ねる。

(施行・試行)

新しい教育制度が|シ|コウ|された。

(施行・試行)

⑩ 左右|タイ|シヨウ|のデザイン。

(対照・対称)

|タイ|シヨウ|的な性格の父と母。

(対照・対称)

鳥取の文学散歩

鳥取県西部紅緑村という架空の村が舞台になった小説を紹介します。

「赤朽葉家の伝説」

あかくちはけ
さくらばかずき
桜庭一樹

鳥根県生まれ。鳥取県出身。

一九九九年デビュー。

二〇〇七年、「赤朽葉家の伝説」で第六十回日本推理小説作家協会賞を受賞。二〇〇八年、「私の男」で第一三三回直木賞を受賞。

作品介绍

千里眼の祖母、漫画家の母、そして何者でもないわたし。高度経済成長、バブル景気を経て平成の世に至る現代史を背景に、鳥取の旧家に生きる三代の女たち、そして彼女らを取り巻く不思議な一族の姿が鮮やかに描かれた作品です。

引用 赤朽葉家の伝説

(創元推理文庫)



同じ訓をもつ漢字 学習日 月 日 ()

☆ 次の①〜⑭は、()の中のどちらの漢字を使うのが正しいでしょう。正しいものを○で囲みましょう。

① 短歌を一首(読・詠)む。

② やり遂げるのは至難の(技・業)だ。

③ 私の祖父は三年ほど(煩・患)っている。

④ 世の中のために(良・善)いことをする。

⑤ この毛布は(軟・柔)らかで、気持ちがいい。

⑥ 出かける前に火の(元・下)を確かめよう。

⑦ 夜になると、雨に雪が(混・交)じるだろう。

漢字の意味を考えて、正しい漢字を見つけましょう。



⑧ ここは学生の(町・街)で、にぎやかだ。

⑨ イベントがあるので、(震・奮)って参加してください。

⑩ 夜が(老・更)けて、冷え込んできた。

⑪ 財産が(増・殖)える。

⑫ ピアノを(弾・引)く。

⑬ (華・花)やかな都会にあこがれる。

⑭ 審議会しんぎかいに(計・諮)る。

☆ 次の①〜④の□には、それぞれ同じ訓をもつ漢字が入ります。後ろの□の中から選んで書きましょう。

① 今回の事故では□い犠牲を払った。

めったにない□い体験をした。

② 洋服の生地をはさみで□。

悪の根を徹底的に□つ。

③ 神棚にお□えをする。

台風の最接近に□える。

④ 衣服を身に□ける。

学校を卒業して、職に□く。

供 貴 裁 着 尊 断 就 備

☆ 例に習って、アとイの部分からそれぞれ一つ選び、組み合わせ、一つの漢字を作りましょう。また、できた漢字を使って、熟語または短文を作りましょう。

雨	不	人	竹
	廿	次	工
	一	四	一

ア
イ

与	八	止	貝
	者	口	田
	皿	同	果

例

				菓	漢字
				和菓子	熟語または短文

					漢字
					熟語または短文

☆ 例に習って、ウとエの部分からそれぞれ一つ選び、組み合わせ、一つの漢字を作りましょう。また、できた漢字を使って、熟語または短文を作りましょう。

耳	云	糸	女
	目	束	魚
	才	斗	車

ウ	エ
---	---

昏	欠	民	各
	羊	屋	頁
	鬼	心	戻

例

				絡	漢字
				連絡	熟語または短文

					漢字
					熟語または短文

ことばの知識

次の言葉の意味を、後ろの()から選び、()に記号で答えましょう。

- アイデンティティー ()
- アフォーリズム ()
- オノマトペ ()
- カリスマ ()
- ロジック ()

ア 論理。論法。論理学。

イ 簡単な言葉でうまく真理を表したもの。格言。

ウ 擬声語。擬態語。

エ 集団をひきつけたり、一般大衆の支持、後援を得る非凡な精神力、能力。

オ 自己同一性。自分は確かに自分であるとの確信を持つこと。